

マンガンおよびその化合物・Mn

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<p>○適切な呼吸器保護具（防じんマスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（側板付き保護メガネ、ゴーグル型）、適切な保護衣（長袖作業衣）、保護面を着用すること。</p>	<p>○吸入した場合…空気の新鮮な場所に移動させる。呼吸困難な場合は酸素吸入させる。医師の診察、手当を受けること。</p> <p>○皮膚に付着した場合…皮膚に付着した部分を流水と石鹼で十分に洗浄する。</p> <p>○眼に入った場合…水で10分間洗浄する。医師の診察、手当を受けること。</p> <p>○飲み込んだ場合…口をすすぐ。コップ一杯の水を飲ませる。無理に吐かせない。医師の診察、手当を受けること。</p>	<p>○作業場所には適切な局所排気装置等を設置する。</p> <p>○床に排水溝を設けないこと。</p> <p>○取り扱い場所の近くに洗浄のための設備を設ける。</p> <p>○容器を開けたままにしない。粉じんを発生させない。</p> <p>○使用前に取扱説明書入手すること。</p> <p>○すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>○使用時は十分な換気を行うこと。</p> <p>○防塵防爆型設備にすること。</p> <p>○粉じんの吸入を避ける。</p> <p>○休憩前や作業終了時には石鹼と水で皮膚を洗い、洗浄後は脂肪分の多いスキンケア製品を塗布する。</p> <p>○この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。</p> <p>○環境に放出しないこと。</p>	<p>○生殖能又は胎児への悪影響のおそれ</p> <p>○長期又は反復ばく露による神経系、呼吸器の障害</p> <p>○長期的影響により水生生物に有害のおそれ</p> <p>○吸入…呼吸器への刺激の可能性、咳、大量の曝露による肺組織の炎症は否定できず、煙、粉じん、蒸気に大量に曝露した場合、金属熱を発症する可能性</p>